

平成 30 年度通常総会終了

6月9日(土)に浜松市浜北区中条の「ひだまりのみちさんぽみち」で通常総会を開催しました。

「定款の変更について」と「平成30年度事業計画と予算」の2件の審議が行われ、どちらも提案通り議決されました。

サポート会員の皆様にも通常総会議案書をお送りしています。事業報告、事業計画等をご覧いただき E-JAN のことをもっとよく知っていただけると嬉しく思います。



通常総会

通常総会議案書 事業の方針から抜粋

平成30年度は、この数年の課題となっている法人の中長期計画の作成に向けての足固めをする1年としたい。平成21年度以降、年々法人の規模は大きくなり、職員も多く雇用するようになった。一方で、法人の理念や事業推進の在り方や方向性、課題の解決の方法、人材の育成などについて十分に整えられないまま実施してきた。そこで、平成30年度はこれまでの事業は踏襲しながら、内部の足固めとしてミーティングや情報交換の機会をこれまでよりも多く持ち、法人の今後の在り方をじっくりと考え、数年で整えていくための準備の一年と考えたい。

その方針の一つとして、これまで委託事業の専任に従事しながら法人の運営を行ってきた事務局員に対し、委託事業との兼務を明確にし、法人の事務局運営に必要な経費をかけながら、法人の体制の整備を進めていきたい。その中で、法人の中長期的な視点に立った協議も行っていく。

事業の方では、ひきこもり相談支援事業が1人増となる。これまでの訪問支援、来所支援での実績が国レベルで評価されてきており、訪問支援や来所支援に対する期待も今まで以上にあり、ノウハウの蓄積と新たな課題への対応などを積極的にすすめていく。

以上のように、平成30年度も今後のE-JANにとっては非常に重要な1年となると考えており、各事業担当、職員、理事等、E-JANに関わる関係者が一体となって活動していきたい。



昼食会のお料理

これまでの通常総会は、精神科利用当事者の発表の場である「じゃんだらにい」と同日、同じ場所で行っていましたが、本年度の「じゃんだらにい」は11月24日(土)に浜北文化センターで行うこととしたため、通常総会のみ行いました。

しかし、せっかく皆様にお集まりいただくのですから、軽い昼食をとりながら交流をしようということで、通常総会終了後に懇親昼食会を行うこととなりました。

「ひだまりのみちさんぽみち」専属シェフの、元ホテル料理長お手製の豪華なオードブルやカレーに、笑顔があふれ会話が弾みました。

来年度の通常総会の日程等はまだ決まっていますが、正会員の方々には是非ご出席いただき審議に加わっていただけるようお願い申し上げます。(大谷)

☆ E-JAN とは…

E・・・Enshu(遠州地域を拠点に)

J・・・Joyful(仲間とともにたのしく)

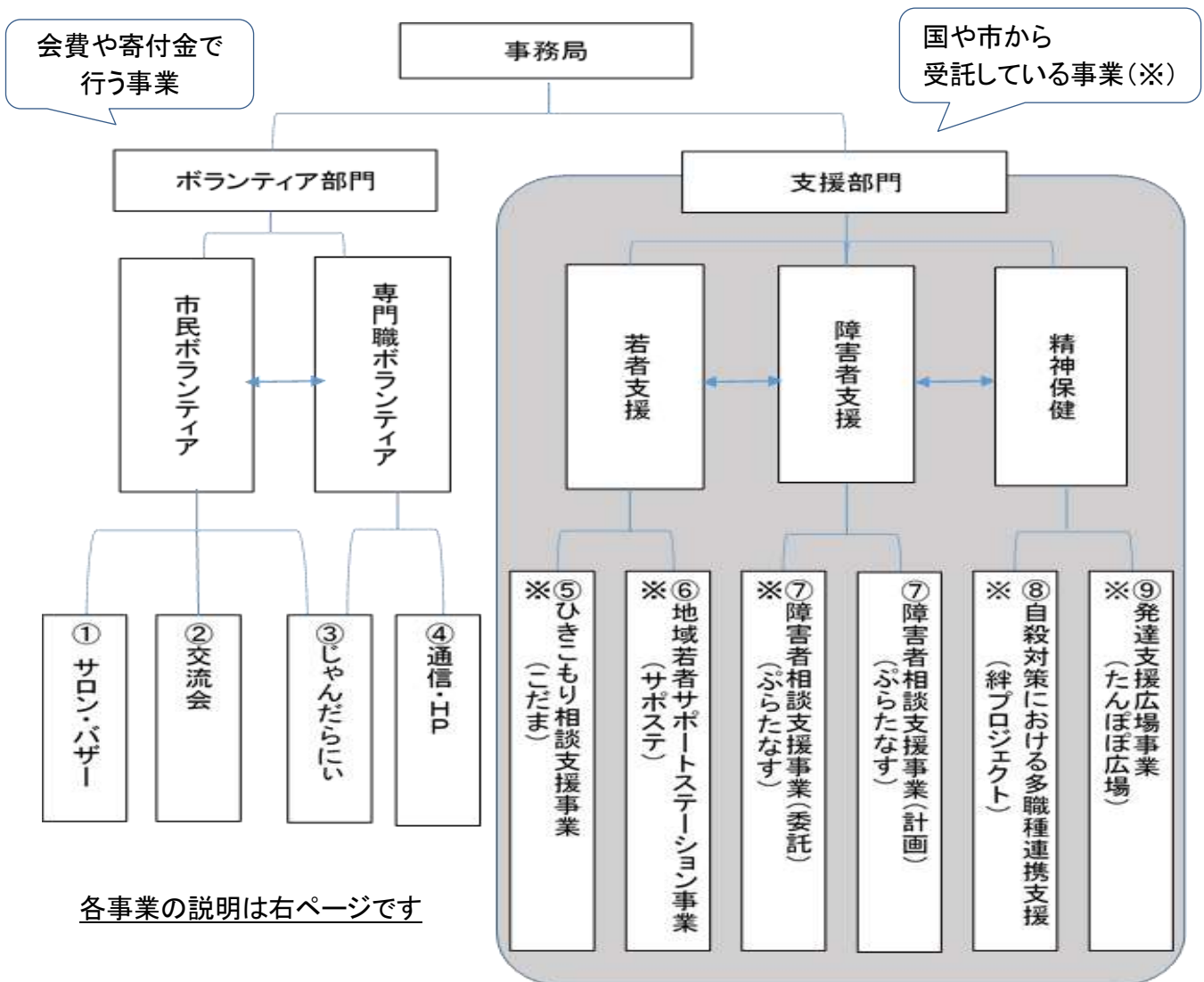
A・・・Action(考えるよりもまず行動)

N・・・Network(人とのつながりを大切に)

～「E-JAN(いいじゃん)」は当会の通称です。～

E-JANは精神障害やメンタルヘルスの問題に積極的に取り組み、誰もがいきいきと暮らせる地域、その人らしい生き方ができるような社会づくりを目指しています。

☆ E-JAN 組織図



ご存知ですか？(浜松市の状況)

- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者(H29) 5,827人(浜松市調べ)
- ・ ひきこもり(H29) 約1,588世帯(厚生労働科学研究により全世帯の0.5%と推計)
- ・ 不登校児童生徒数(H28) 1,044人(小学生301人・中学生743人)(浜松市調べ)
- ・ 自殺者数(H28) 106人(浜松市調べ)

☆ 各事業の説明

①サロン・バザー

市民ボランティア「たけのこくらぶ」が主催する事業。当事者の方と市民ボランティアと一緒にサロン活動やバザーを行う。

②交流会

市民ボランティア「たけのこくらぶ」が主催する、当事者同士や当事者家族の交流会。

③じゃんだらにい

精神科利用当事者体験発表会。体験談の発表、絵画や創作物の展示を行う。当事者や当事者家族の方には回復への希望を、精神保健医療福祉関係者や一般市民の方には精神障害への理解を深めていただく会となっている。

④通信・HP

年に3回会報を発行。
ホームページ <http://www.npo-e-jan.com/>



⑤ひきこもり相談支援事業(こだま)

浜松市ひきこもり地域支援センターの一部(ひきこもりサポートセンターこだま)として、市内在住の方を対象に、訪問による個別支援や来所による集団支援を行い、ひきこもり状態から社会参加を目指す。(職員数5人)

⑥地域若者サポートステーション事業(サポステ)

湖西市、浜松市、磐田市、袋井市、森町を支援エリアに、何らかの理由で働けないで悩んでいる若者(15歳~39歳)に対し、就労についての相談に応じ、コミュニケーションの訓練や職場見学、職場体験等を通して支援を行う。(職員数10人)

⑦障害者相談支援事業(ぷらたなす)

地域で暮らす障がい者の、生活全般、病気や障がいについて、ご本人や家族等からの相談に応じる。
また、福祉サービスを利用するにあたっての計画作成やモニタリングを行う。(職員数3人)

⑧自殺対策における多職種連携支援業務(絆プロジェクト)

多重債務などを背景とした自殺ハイリスク者と接する機会が多い弁護士や、司法書士と精神保健福祉士等が協力して、多職種連携、地域連携の仕組みを構築し、自殺者の減少を目指す。

⑨発達支援広場事業(たんぽぽ広場)

1歳半から就園前までの年齢で、発達についてゆっくりだったり心配のある幼児とその保護者に対し、週に1回、遊びを通じた発達支援や親支援を行う。

☆ 新入職員紹介

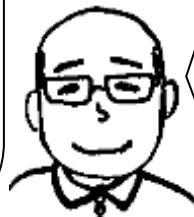
サポステはままつ

臨床心理士 潰瀧 佑香(つえたき ゆか)

精神科病院で得た知識を活用しながら、皆様の心の健康をサポートしていきます。また、簡単なコミュニケーションスキルや社会的なスキルのワークなど遊びも交えながらおこなっております。少しでも今後役に立ててもらえると幸いです。

どうぞ宜しくお願いします。

趣味: 広く浅く手を出しており興味がうつりやすいのですが、今はアロマと車いじり(内装)です。



サポステはままつ

精神保健福祉士
佐藤 智澄(さとう ともすみ)

就労移行支援事業所での経験をもとに福祉的な就労を望む方の就労支援やサポートができればと思っています。今後よろしくお願い致します。

趣味: ミナミヌマエビの飼育

たけのこくらぶ報告

「たけのこくらぶ」は、E-JAN 会員の有志で
つくるボランティアグループです。
あなたも一緒に活動してみませんか？

★ 勉強会 3月11日(日) 10:00~12:00 クラブハウス

12名参加の勉強会で、大場代表に講義をしていただきました。テーマは「精神障害者と社会～過去・現在・未来～精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム・多機能型診療所構想を見据えて」です。スライドを利用しながら、現代社会の精神保健医療福祉の実態や歴史、そして上記システムの構築支援事業等について、わかりやすく説明してくださいました。

日本は精神保健医療福祉の分野は諸外国に比べて遅れていますが、次々に法が変わり、精神障がい者の自立、就労など、社会で支援する体制が整ってきました。これからはもっと保健・医療・福祉・行政が情報共有や連携をして、精神障がい者が地域の一員として安心して生活ができるよう、乳幼児から成人までの地域包括ケアシステムを進めていくということです。以前に送られた「らしく浜松 Vol.7」にもありますので、是非読み返してみてください。

また、多機能型診療所というのは、様々な外部機関との連携により、デイケアや就労支援など医療以外にも様々な役割を持つ診療所のことです。すでに実践している診療所もありますが、まだまだ非常に少ない現状です。

いずれもこれまでになかった発想で、とても驚きました。

参加者の感想として、「何年も病気と付き合ってきたが、こういうことかと納得した。」「大事な教育なのに、40年間障がい者教育が抜けていた。もっと早くやっていたらいい。」「まだまだこれからだ、E-JAN のようなNPO もその一翼を担えるとよい。」などという声が上がりました。ボランティアとして何ができるか、考えていけたらと思います。(澤木)



勉強会

★ イエローレシートキャンペーン ギフトカード贈呈式 4月14日(土) イオン浜松市野店

昨年4月から本年2月までの毎月11日に行われた、イエローレシートキャンペーンでE-JANのボックスに入れていただいたレシートの1%分 35,300円のギフトカードをいただきました。

毎月11日にイオンで買い物をしたら、イエローレシート(レシートを持ち帰りの方は、サービスカウンターで発行してくれる仮レシート)をボックスに入れて帰るといってお客様の流れができるよう、これからは店頭でのキャンペーンPRに協力していきたいと思います。E-JANの現在のボックス番号は7番です。

マックスバリュ助信店でもイエローレシートキャンペーンを行っています。7月11日に9,300円のギフトカードをいただきました。

いただいたギフトカードは、たけのこくらぶの活動用品とクラブハウスの雑貨品購入に使わせていただきました。(大谷)

★ 交流会(茶話会) 4月22日(日) 13:00~12:00 クラブハウス

4月22日(日)に、今年度1回目の茶話会がE-JANクラブハウスの2階で行われました。今回の参加者は9名で、当事者、当事者家族、支援者とさまざまな立場の方々が参加されました。今回も前回同様、テーマを決めず参加者が互いに話したいことを話す「ほっこり茶話会」として会は始まり、まずは簡単な自己紹介から。お知り合いになったところで、最近体験した嬉しかったこと、楽しかったこと、その他思い思い語りあいましたが、特に当事者の方が話す生きた一言一言が私の心に沁み込んできました。障害を抱えながら地域で暮らすことの辛さや困難さに心を痛めましたが、それにもまして、地域で暮らせる幸せや将来の夢を語って下さった方の言葉に希望の力をいただいた気がします。

また、最初は自分の立場で発言していた方々が、そのうち立場を超えてこの地域で暮らす一市民、一個人としての発言に変化していったことが印象的でした。
「コノ地ニ生キル幸セヲ」 E-JAN が求めている、精神障害があってもなくても共に生き活きと暮らしていける地域の実現のために、こうした交流会がもっと広がりを見せることで相互理解が深まっていくのだと思いました。(鈴木)

★ お楽しみサロン(バーベキュー) 5月20日(日) 10:00~14:00 「ぐるぐる」さん前庭



バーベキュー

5月20日(日)10時より、「グループホームぐるぐる」さんの前庭にて、バーベキューを実施しました。22名の参加を得て、また晴天で、大変盛り上がった会になりました。(当初は、5月13日開催予定でしたが、雨天となり延期に)

メニューは、串焼き4種。食材を皆さんにお手伝い頂いて、切り分けと串刺しをしました。

会場には、まだかなあ?と待ちわびる皆さん。串を焼き始めると、皆さんの目がランラン。そして焼きあがり、「美味しいねえ」の声が其処此処から。他に、焼きそば、讃岐うどんも提供しました

皆さん、思い思いに席を移動し、話も弾んで、満たされたお昼となったようです。ヨカッタ ヨカッタ。

幹事を務めて頂きました、池谷君、鈴木さんご夫婦、またコンロ等道具を貸し出して頂きました、鈴木さん、ユキコさんには感謝申し上げます。

リクエストが多かったなので、来年も開催の運びになると良いですね。(山下)

★ 出張バザー 6月22日(金) 13:00~14:00 地域活動支援センターだんだん

毎年恒例の出張バザーです。

会員の皆様からご提供いただいた品物や手作り品を、地域活動支援センターだんだんで販売しました。

昼食を終えたお客様(利用者さんと職員さん)が三々五々会場へみえて、興味をもった品物を手に取り、買ってくださいました。今年は男性衣類と高級ハンドタオルがよく売れました。

だんだんの皆さんとの交流を図ることができ大満足の出張バザーでした。(大谷)



出張バザー

★ お楽しみサロン(うたごえタイム) 7月1日(日) 13:00~15:00 クラブハウス

7月1日(日)、今年度第2回目のお楽しみサロンうたごえタイムを行いました。

講師はおなじみシンガーソングライターの石野裕子(ゆうころん)さんです。

参加者14名、うち2名新規の方、1名見学の方でした。



うたごえタイム

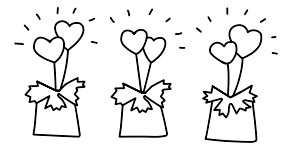
ゆうころんのうたごえタイムが初めての方が半分ぐらいいました。

14筋体操から始まり、笑いヨガでからだをほぐしてゆるやかにスタートしました。

わたしは超オンチですが、みんなで歌うので怖くありません(笑)

終始和やかな雰囲気でした。

誰でも楽しめるうたごえタイムはこれからも取り入れていきたいサロン活動の一つです。(高橋)



9月	2日(日)	交流会(茶話会)	14:30～16:00	クラブハウス
	11日(火)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
10月	11日(木)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
	未定(平日)	施設見学	9:00～15:00	トータルケアセンター
	21日(日)	お楽しみサロン (体に良い飲み物と手作りお菓子の会)	13:00～15:00	クラブハウス
11月	4日(日)	お楽しみサロン (ムラキングと詩をよむ会)	13:00～15:00	クラブハウス
	11日(日)	浜北ふれあい広場(バザー出店)	10:00～14:00	グリーンアリーナ
	11日(日)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店
	24日(土)	じゃんだらにい (精神科利用当事者体験発表会)	13:00～16:00	浜北文化センター
12月	11日(水)	イエローレシートキャンペーンの日	終日	イオン浜松市野店 マックスバリュ浜松助信店

☆ 行事の詳細については事務局までお問い合わせください。

会費納入ありがとうございます



事務局から



会員の皆様には、早々に会費の納入をいただきありがとうございます。また、正会員からサポート会員への変更を数人の方からお申し出いただき、サポート会費(寄付金とみなされます)が増えありがたく思っています。認定 NPO 法人を維持するためには、1年間に3,000円以上の寄付者が100人以上いることが要件の一つとなっています。現在75人の方から3,000円以上の寄付(サポート会費を含む)をいただいています。会費をまだ納めていただけてない方には、早めに納入いただけますようお願いいたします。

～編集後記～

- ・初めての編集で大変でしたが、皆さんに助けていただいて無事になんとかになりました。今回の通信で E-JAN のことをもっと知っていただけたら良いと思います。(鈴木ひ)
- ・6月に入職してすぐに編集作業のお手伝いをさせていただきましたが、お役に立てる事が少なかったと思うなか無事に E-JAN 通信ができてほっとしました。(佐藤)
- ・新しい編集委員さんが増えて嬉しく思いながら作りました。今年の夏は暑くて暑くて…以前住んでいた所では、夕立で雨が降って気温が下がることもあったのですが、浜松ではめったに夕立が来ず、地域の違いを感じた夏でした。(杉浦)
- ・今年の夏は猛暑つづき！外に出ると独特な「もわっ」とする感じ、みなさんも味わっていたのではないのでしょうか。しかし、今年はワールドカップと高校野球があり、スポーツの素晴らしさを立て続けに感じられる夏になりました！(大畑)
- ・たけのこらぶの活動報告記事はいかがでしたか？活動に参加される新規の方が増えてきました。嬉しいですね。興味ある方は見学からどうぞ(^) (高橋)
- ・E-JAN のこと、今までよりはわかっていただけましたか。次号(12月発行予定)も楽しみにしててください(大谷)